

川島町の取組状況について

①ハザードマップ及びマイ・タイムライン説明会の開催

令和4年6月18日と19日に水害時の逃げ遅れ対策として、ハザードマップ及びマイ・タイムラインの重要性を周知するため、町民に対して説明会を実施した。

また、町ホームページで説明動画を配信している。



②中学生を対象とした防災教育の実施

町内の中学校3年生を対象に防災教室を開催した。
(令和4年3月22日及び23日)

水害や地震から身を守るため、町のハザードマップを参考に、町の被害想定や水害時の町外への広域避難の大切さ、マイタイムラインの作成方法、災害時に使用する町の災害備蓄品を手にとって学習した。



③民間施設等における「まるごとまちごとハザードマップ」の設置（令和4年3月）

これまで、公共施設や小中学校にまるごとまちごとハザードマップの看板設置を行ったが、新たに、商業施設やコンビニエンスストアなどの民間施設に看板設置を行った。（町内設置箇所合計66か所）



④(株)バカンの災害協定の締結

令和4年6月24日に、町と株式会社バカンによる「災害時避難施設に係る情報の提供に関する協定」を締結した。

この協定により、町ホームページやメールにより、地図上で町内、町外の避難場所の空き情報を町民に提供することが可能となった。



⑤水害シンポジウムの開催

令和4年7月24日に、水害時において、自らの身は自分で守るという認識を深め、いざというときの支えあいの土壌をいかに地域に築いていくかをテーマに、これまでの歴史的な史実や災害の体験談を交えて、どのように災害時に自分の命を守るか、共に考えるシンポジウムを開催した。

